

研究情報詳細

【氏名】

杉山 奈生子（すぎやま なおこ）

SUGIYAMA Naoko

【所属(職位)】

大学院造形学研究科デザイン学専攻(教授)

【取得学位】

博士(文学)

【略歴】

1999年4月 日本学術振興会特別研究員(DC1) (至2002年3月)
2002年3月 名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程(哲学専攻／美学美術史学) 満期退学
2002年4月 名城大学都市情報学部 非常勤講師 (至2008年3月)
2002年4月 名古屋音楽大学音楽学部 非常勤講師 (至2011年3月)
2005年4月 名古屋大学大学院文学研究科 21世紀COE研究員 (至2007年3月)
2005年6月 学位 博士(文学)取得 (名古屋大学「アントワーン・ヴァトールの雅宴画における彫刻表現について」文博第176号)
2007年7月 名古屋大学大学院文学研究科 グローバルCOE研究員 (至2011年3月)
2011年4月 愛知産業大学大学院造形学研究科デザイン学専攻 准教授 (至2021年3月)
2011年4月 愛知産業大学造形学部デザイン学科 准教授 (至2021年3月)
2019年4月 愛知産業大学総務広報部学長室長(至2021年3月)
2021年4月 愛知産業大学大学院造形学研究科デザイン学専攻 教授 (現在に至る)
2021年4月 愛知産業大学造形学部スマートデザイン学科 教授 (現在に至る)
2021年4月 愛知産業大学大学院造形学研究科デザイン学専攻長 (現在に至る)
2022年4月 愛知産業大学・愛知産業大学短期大学図書館長(現在に至る)

【主な担当科目】

造形倫理学、日本の造形A、世界の美術

【主な研究分野】

美学・美術史学(主に近世フランス)

【所属学会等】

日本美術史学会、日仏美術学会、日本18世紀学会、国際18世紀学会

【主な研究テーマ】

1. アントワーン・ヴァトールの雅宴画に描かれた彫刻モチーフの生成と解釈
2. 17, 18世紀フランスの美学・芸術論

【主な研究・発表等業績】

1. 『アントワーン・ヴァトールの雅宴画における彫刻表現について』、名古屋大学学位(博士)申請論文、2005年3月
2. Les sculptures peintes dans les fêtes galantes d' Antoine Watteau, analyse statique et chronologique, et point de vue génétique, HERSETEC, 4-1, Graduate School of Letters, Nagoya University, pp.61-77, 2010.
3. 「画家ヴァトールに関するアカデミー講演録(4)～ソルボンヌ大学図書館所蔵の手稿(Ms. 1152, fol. 17-41)を巡って～」、造形学研究所所報(愛知産業大学造形学部)、第12号、pp.1-6、2016年
4. 「美しき花嫁たち:ルーヴル美術館所蔵の15～19世紀における若い女性の肖像画に関する試論」(コーム・ファーブル氏 仏語論文和訳)、ルーヴル美術館展図録、国立新美術館、pp.20-25、2018年
5. 「ロココ絵画に描かれた彫像の生動性～信仰から愛好の対象へ」、聖性の物質性(木俣元一ほか編)、三元社、pp.266-292、2022年

【社会的活動】

1. 愛知産業大学主催大学院公開講座(2018年1月20日、岡崎市図書館交流プラザ) 講師
2. 教員免許状更新講習(2014-2019年8月、愛知産業大学) 講師

【その他の活動】